

帝京大学建学の精神

努力をすべての基とし偏見を排し
幅広い知識を身につけ
国際的視野に立って判断ができ
実学を通して創造力および人間味豊かな
専門性ある人材の養成を目的とする

○帝京大学 ディプロマ・ポリシー

帝京大学は、建学の精神に掲げる人材の育成を目的および使命としており、これを達成するために「自分流」という教育理念および「実学・国際性・開放性」という具体的な教育指針を示し、学部学科等において教育目的を定めている。これらの方針の下で、教養教育科目と専門科目からなる教育課程を編成する。

以下の能力を身につけ、所定の教育課程および単位を修めた者に対して学位を授与する。

- 1、本学の教養教育の学修目標に掲げる能力を身につけている。
- 2、幅広い教養と社会的倫理観、豊かな創造力および人間味を身につけている。
- 3、専門分野についての知識・技能を有し、それを用いて社会に貢献する意思を持っている。
- 4、異文化を理解し、国際的視野により物事を判断できる素養を持っている。
- 5、主体性を持って他者と協働して学び、自他を更に高め合う関係を構築できる。

○帝京大学 カリキュラム・ポリシー

帝京大学は、学位授与に要求される能力を修得するために、学部学科等において教養教育科目および専門科目を体系的・効果的に編成し、講義、演習および実習等を適切に組合せた授業を開講する。

また、教育の質の向上に努めるために、履修に必要な指導等をきめ細かく行う。

各科目については、以下の方針でカリキュラムを編成する。

- 1、教養教育科目においては、帝京大学教養教育ミッションに基づき、生涯学び続ける力の修得ができる科目編成を行う。
- 2、専門科目においては、学部学科等の専門分野についての主体的な学びを促し、知識・技能を身につけるための系統的な科目編成を行う。
- 3、教育指針の「実学」に基づき、実践を通して論理的な思考を身につけるための科目編成を行う。
- 4、教育指針の「国際性」に基づき、異文化理解の学修ができる科目編成を行う。
- 5、教育指針の「開放性」に基づき、学生の視野を広げるため、必要な知識・技能を偏ることなく幅広く学ぶことができる科目編成を行う。

○帝京大学薬学部 教育目的

薬学部は、建学の精神に則り、高度の専門知識・技能と豊かな人間性を基盤とした実務実践力に加えて、研究心や課題発見・問題解決能力、自己研鑽能力があり、医療チームや地域社会において信頼される薬剤師として、広く社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

○帝京大学薬学部 ディプロマ・ポリシー

薬学部は、科学の進歩に伴う医療の高度化、少子高齢化社会における地域医療連携と国民の健康維持・増進という観点から、社会や医療現場の期待に応え、地域住民や個々の患者のニーズに対応できる薬剤師の養成を目指している。卒業時の学習成果（アウトカム）として以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対して学位を授与する。

- 1. 医療人として温かい人間性と高い倫理観を持ち、他者の尊厳や人権等に配慮した利他的な観点で共感的に誠実で素直に行動し、自己研鑽に努め、あわせて次世代を担う人材の育成を行うことができる。
- 2. コミュニケーション力により患者、患者の家族、医療チームのメンバー等と信頼関係を築き、専門職連携を通して、患者中心の視点でチーム医療に参画できる。
- 3. 医薬品の物理的・化学的特性を考慮し、法規・制度や社会環境等に配慮し、求められる医療に必要な医薬品の調製と取扱いを適正に行うことができる。
- 4. 科学的な根拠の下に医薬品等が生体に及ぼす影響を理解し、患者個人の背景を尊重した適切で効果的な薬物治療を実施できる。
- 5. 地域における保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、地域医療連携を通して、地域住民の健康維持・増進を支援できる。
- 6. 基礎、臨床および社会薬学領域での研究の意義を理解し、医療における問題点を科学的・論理的に考え、薬学的視点から問題解決を推進する姿勢を示すことができる。

○帝京大学薬学部 卒業時の学習成果(アウトカム)のコンピテンシー

領域	文科省10の資質	アウトカムのコンピテンシー
1. 倫理観とプロフェッショナリズム	1) 薬剤師としての心構え	医療人として温かい人間性と高い倫理観を持ち、他者の尊厳や人権等に配慮した利他的な観点で共感的に誠実で素直に行動し、自己研鑽に努め、あわせて次世代を担う人材の育成を行うことができる。
	9) 自己研鑽	コンピテンシー
	10) 教育能力	1) 医療人として倫理的問題を認識し、倫理的原則に基づいて行動する。
		2) 他者の尊厳、人格と背景を尊重し、温かい人間性の下に利他的な観点で、共感的、誠実で素直に行動する。
		3) 自己主導型学習により、常に自己を評価し、自己の向上を図る。
2. チーム医療を通じた患者中心の医療への参画	2) 患者・生活者本位の視点	4) 同僚、後輩に対する指導、助言をする。
	3) コミュニケーション能力	コミュニケーション力により患者、患者の家族、医療チームのメンバー等と信頼関係を築き、専門職連携を通して、患者中心の視点でチーム医療に参画できる。
	4) チーム医療への参画	コンピテンシー
		1) 他者と個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、受け入れ、支援的態度を示すコミュニケーションを実践する。
		2) 患者、患者家族、医療チームのメンバーと信頼関係を築く。
3. 医薬品の適正な調製と取扱い	5) 基礎的な科学力	3) 医療機関におけるチーム医療に参画する。
	6) 薬物療法における実践的能力	4) 地域におけるチーム医療に参画する。
		コンピテンシー
		1) 医薬品の調製、管理、供給に必要な基本的な化学的、物理的特性を説明できる。
		2) 医薬品の調製、管理、供給に必要な分離、分析、同定を行うことができる。
4. 薬物治療の実践	6) 薬物療法における実践的能力	3) 製剤の性質を把握し、効果的な薬物送達を目指した製剤設計ができる。
		4) 処方箋に基づく適切な調剤、医薬品の供給ができる。
		5) 関連する法令を遵守する。
		科学的な根拠の下に医薬品等が生体に及ぼす影響を理解し、患者個人の背景を尊重した適切で効果的な薬物治療を実施できる。
		コンピテンシー
5. 国民の健康維持と地域医療への貢献	2) 患者・生活者本位の視点	1) 生命現象、人体の構造を薬学的観点で説明できる。
	7) 地域の保健・医療における実践的能力	2) 医薬品の生体への影響を科学的に判断することができる。
		3) 代表的な病原微生物とそれらが原因となる疾患、治療法を説明できる。
		4) 代表的な疾患と、治療に用いる薬物の適応との関連性を説明できる。
		5) 医薬品の安全性を担保できる。
6. 科学的探究心	8) 研究能力	6) 薬物療法に必要な情報を情報源から収集、聴取し、必要に応じて提供できる。
	5) 基礎的な科学力	7) 適切な処方提案と、薬効と副作用の評価ができる。
		8) 患者一人ひとりに適した薬物治療を計画、実施、評価できる。
		9) 医薬品の生体内の挙動を推論できる。
		10) 適切な薬物療法の実施に必要なエビデンスを活用できる。
5. 国民の健康維持と地域医療への貢献	2) 患者・生活者本位の視点	地域における保健・医療・福祉の資源を把握・活用し、地域医療連携を通して、地域住民の健康維持・増進を支援できる。
	7) 地域の保健・医療における実践的能力	コンピテンシー
		1) 科学的な根拠を基盤として環境衛生の保全、食品の衛生管理に努める。
		2) 保健、医療、福祉と介護に必要な人材、施設を理解し、それらとの連携できる。
		3) 地域における疾病予防、健康増進、プライマリケアを実践する。
6. 科学的探究心	8) 研究能力	4) 地域包括ケアにおける在宅医療に積極的ににかかわる。
	5) 基礎的な科学力	5) セルフメディケーションを積極的に支援する。
		基礎、臨床および社会薬学領域での研究の意義を理解し、医療における問題点を科学的・論理的に考え、薬学的視点から問題解決を推進する姿勢を示すことができる。
		コンピテンシー
		1) 薬学的発見の基礎となる研究の概要を把握する。
6. 科学的探究心	8) 研究能力	2) 科学的研究で明らかになった新しい知見、高度先進医療を説明できる。
	5) 基礎的な科学力	3) 未知、未解決の薬学的問題あるいは科学的問題を発見し、解決に向けて取り組むことができる。
		4) 英語により薬学、医療における情報を入手し、発信する意欲を持つ。
		コンピテンシー
		1) 薬学的発見の基礎となる研究の概要を把握する。

帝京大学薬学部 カリキュラム・ポリシー

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で要求される能力を修得するために、薬学部では、学習成果（アウトカム）基盤型教育の考え方に基づいて、以下の方針でカリキュラムを編成する。

1. 「薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成 25 年度改訂版）」を基盤として、ディプロマ・ポリシーに掲げられた 6 つのアウトカムを身につけることを目指す。
2. アウトカム 1（倫理観とプロフェッショナリズム）は、多様な分野の教科において幅広く取り上げ、すべての学年を通して醸成する。できる限り実習、討議を加えた学習方法で実施し、求められる技能・態度に適した評価方法で評価する。
3. アウトカム 2（チーム医療を通じた患者中心の医療への参画）は、豊かな人間性に基づく信頼関係を築き、コミュニケーション能力を高めることを目的としており、本学部の特徴として特に重視する。学年進行に伴った順次性あるらせん型のヒューマニティ・コミュニケーション教育カリキュラムを構築し、医学部・医療技術学部と合同で医療系学部横断型の多職種連携教育(IPE)を実施し、ルーブリック表を用いたパフォーマンス評価を行う。
4. アウトカム 3（医薬品の適正な調製と取扱い）、アウトカム 4（薬物治療の実践）、アウトカム 5（国民の健康維持と地域医療への貢献）を中核とした薬学専門教育では、学年進行に伴った順次性あるらせん型カリキュラムを構築し、科学的根拠に基づいた薬剤師としての能力を効果的に醸成する。
入学時から 4 年次前期に渡り、講義等で幅広い薬学専門知識を身につけ、実習や演習を通して知識の活用力や問題解決能力を醸成する。修得した知識は客観試験や論述試験で評価し、実習や演習の学習成果は、技能・態度に適した方法で評価する。4 年次後期以降では、統合型演習や実務実習を中心に、より実践的な学習環境を提供し、知識の評価とパフォーマンス評価を行う。
5. アウトカム 6（科学的探究心）は、1～3 年次の基礎系薬学実習を基盤として、主に 4～6 年次の卒論実習（卒業研究）を通して醸成する。より深い科学的・論理的な思考力、課題発見・問題解決能力とともに、能動的に学ぶ姿勢や自己研鑽能力を涵養し、知識の評価とパフォーマンス評価を行う。
6. 卒業時に求められる総合的な学習成果については、知識は客観試験や論述試験で、薬剤師としての実務能力はポートフォリオ等で、卒業研究はルーブリック表を用いたパフォーマンス評価でそれぞれ評価する。

薬学部の学習成果（アウトカム）基盤型教育について

薬学部では、2015 年度から「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠した教育を実施するにあたり、学習成果（アウトカム）基盤型教育を導入しています。

1. アウトカム基盤型教育におけるディプロマ・ポリシーと卒業時のアウトカム

アウトカム基盤型教育では、卒業時までには学生諸君がどのような能力を身につける必要があるかをディプロマ・ポリシーに明示し、その能力を引き出すために各授業の学習目標を立て、それらを体系的に関連付けて教育していきます。

1) アウトカム outcome : 学習成果を意味しますが、学習目標として卒業時までには身につけなければならない能力という意味で使います。帝京大学薬学部では、ディプロマ・ポリシーに示す 6 つの能力をアウトカムと呼びます。これらの能力には、文部科学省が提示した 10 の「薬剤師として求められる基本的な資質」の内容がすべて含まれており、改訂モデル・コアカリキュラムの趣旨に合致しています。

2) コンピテンシー competency : アウトカムは大きな概念で、包括的な表現になっているため、この能力が実際に身についているかどうかを判断するためには、各アウトカムを具体的に評価可能なレベルにまで分割して表現する必要があります。この分割された具体的な能力（より具体的な学習目標）をコンピテンシーと呼ぶことにします。

3) アウトカム、コンピテンシーと SBOs の関係

アウトカム 4 を例に挙げて具体的に説明します。アウトカム 4 は、「科学的な根拠の下に医薬品等が生体に及ぼす影響を理解し、患者個人の背景を尊重した適切で効果的な薬物治療を実施できる。」ことを卒業時に求めています。そこで、この能力が身についているかどうか判断するために、このアウトカム 4 では、具体的な 10 のコンピテンシーを設定しました。各コンピテンシーには、改訂コアカリキュラムの複数の SBOs（Specific Behavioral Objectives : 到達目標）が対応しています。

表 1 アウトカム 4 のコンピテンシー

コンピテンシー	対応する SBOs の数
1) 生命現象、人体の構造を薬学的観点で説明できる。	1 2 3
2) 医薬品の生体への影響を科学的に判断することができる。	7 2
3) 代表的な病原微生物とそれらが原因となる疾患、治療法を説明できる。	5 0
4) 代表的な疾患と、治療に用いる薬物の適応との関連性を説明できる。	1 3 5
5) 医薬品の安全性を担保できる。	3 5
6) 薬物療法に必要な情報を情報源から収集、聴取し、必要に応じて提供できる。	5 8
7) 適切な処方提案と、薬効と副作用の評価ができる。	2 8
8) 患者一人ひとりに適した薬物療法を計画・実施・評価できる。	1 7
9) 医薬品の生体内の挙動を推論できる。	4 0
10) 適切な薬物療法の実施に必要なエビデンスを活用できる。	2 7

2. カリキュラム・マップ

各学年で学ぶ授業のシラバスの「授業計画」の欄には、「項目」、「内容と目標」に対応して「コアカリ番号」が記載されています。このコアカリ番号は、前述したように、それぞれが対応するコンピテンシーを経て6つのアウトカムのどれかに繋がっています。カリキュラム・マップは、その科目で取り上げる内容が、どのような卒業時のアウトカムに繋がっているかを示した表で、授業内容とコンピテンシーとの繋がりやの程度を、◎、○、△で表現してあります。

表2 1年生のカリキュラム・マップ(一部抜粋)

1年生(一部抜粋)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎：授業で必ず触れる内容です。

○：授業に組込むことを教員が努力目標としており、授業で少しは触れることがある内容です。

△：授業では触れないが、学生にはこれを意識して授業に臨んで欲しいという内容です。

例えば、表2の「物理化学1」では、担当教員は◎のアウトカム3のコンピテンシー1とアウトカム4のコンピテンシー9を授業内容として必ず取り上げます。△のアウトカム1、アウトカム2のコンピテンシー1)、2)、アウトカム3のコンピテンシー5)、アウトカム4のコンピテンシー10)、アウトカム6のコンピテンシー2)には、物理化学の授業がこれら多くのアウトカムあるいはコンピテンシーに繋がっていることを意識しながら学んで欲しいという受講生へのメッセージが込められています。

3. カリキュラム・ツリー

アウトカムは6年間のカリキュラムの成果です。同じような科目名なら関連性があることを容易に想像できますが、薬学の学問体系はとても広い分野の科目が集まって構成されているため、科目表だけでは6年間の繋がりを把握することが困難です。そこで、6年間の科目の繋がりの体系性を、アウトカム別にまとめたものが、カリキュラム・ツリーです。

各アウトカムの列に配置されている科目は、カリキュラム・マップで、そのアウトカムに◎のついている科目です。セルの色はその科目が属する分野を示しています。科目によっては、たくさんのアウトカムに関わっていることがよくわかると思います。また、グレーのセルは科目名の前に(○)あるいは(△)がついていますが、これは、カリキュラム・マップの項で説明した記号と同じ意味で、このアウトカムにも関連していることを示しています。

6つのアウトカムを身につけるためには、まず、たくさんの科目が相互に関わり合いながらアウトカムを形成する仕組みになっていることを理解して下さい。多くの科目は半年単位での実施ですが、今受けている授業が、次の学期あるいは学年の授業、実務実習、卒業時のアウトカムなどにどのように繋がっているかをカリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーを通して理解し、繰り返し学びながらアウトカムを達成するという意識を持つことが最も重要です。

○カリキュラム・マップ【学年別】－2016～2018年度入学生－

1年生																																
アウトカラム	1				2				3					4										5					6			
コンピテンシー	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)
ヒューマンコミュニケーション		◎				◎	◎																									
生命倫理	◎			◎																												
薬学への招待1	◎	◎	◎			◎						◎			◎			◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎		
基礎物理化学											◎				◎																	
基礎化学										◎					◎															○		
機能形態学	△												◎																			
生命科学1	△	△	△			△							◎					△												△		
医学概論																	◎												◎			
薬学数学										◎	◎																					
医療社会学	◎	◎	◎			◎	◎					◎						◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
薬学への招待2	◎	◎	◎	◎		◎												◎								◎	◎					
物理化学1	△	△	△	△	△	△					◎												◎	△							△	
薬品分析化学											◎	◎		○																		
有機化学1										◎	◎							○														
生命科学2	△	△	△			△									◎	◎	◎	○											△			
生理学1															◎																	
薬科生物学				○											◎	◎		◎														
薬学実習1							◎			◎	◎							◎												◎		◎
薬学実習2	◎									◎					◎	◎	◎												◎			

2年生																																	
アウトカム		1				2				3					4										5					6			
コンピテンシー		1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)
応用分析化学				○						◎	◎	◎					△																
物理化学2		△	△	△	△	△	△			◎				△										△								△	
有機化学2			△	△	△					◎																						△	
生化学1											◎					◎												△				△	
生理学2				△												◎																	
薬理学1																◎	◎		◎														
薬理学2																◎	◎		◎					○									
製剤学1												◎		◎																			
物理薬剤学												◎											△										
医療コミュニケーション1			◎	△		◎	◎						◎															○					
機器分析学		○																															
物理化学3											◎	◎																					
有機化学3											◎																						
生化学2																◎																△	
エコサイエンス																◎				◎						◎		◎	○				
栄養化学																◎												◎	◎				
病態・薬理学1																◎		◎		◎													
病態・薬理学2			△	△		△								△	◎	◎	◎	◎			△						△						
薬理学3				◎											◎	◎	◎	◎									△						
製剤学2												◎	◎	◎		◎				◎		◎									◎		
薬学実習3				○			○				◎	◎	◎		◎		◎																
薬学実習4				△							◎	◎	◎		◎		◎																

3年生																																	
アウトカム	1				2				3					4										5					6				
コンピテンシー	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)	
臨床分析学	○			○						◎								◎		◎										○			
生薬学・天然物化学			○							◎			○		◎															○			
有機化学4									◎		◎				◎																		
感染免疫学										◎					◎																		
衛生化学																◎													◎	○			
環境衛生学											△				◎														◎		○	○	
病態・薬理学3			△												◎		◎		△														
病態・薬理学4		△	△		△									◎			◎		△									△	○		○		◎
生物薬剤学															◎								◎										
調剤学						△	◎	◎				◎	△						◎	◎	◎			◎									
放射薬品学			△						◎									◎	◎	◎									◎				
医薬品化学1									◎				△		◎														△				
分子生物学											◎				◎				◎													◎	
毒性学													○						△										◎				
病態・薬理学5											◎				◎		◎	◎															
病態・薬理学6			△								◎				◎		◎	◎	△														
薬物治療学1																		◎		△													
医薬品情報学		◎	△			◎														◎	◎			◎				◎		○		◎	
薬学統計学																								◎						◎			
薬物動態学			△			△					◎											◎	◎	△							△		
医療コミュニケーション2	◎	◎			◎													◎	◎								◎			◎			
薬学実習5												◎			◎		◎						◎								◎		
薬学実習6												◎	○												◎			◎					
薬学実習7	△		◎							◎	○				◎	△	◎	◎					△								◎		

◎:授業で必ず触れる内容です。

○: 授業に組込むことを教員が努力目標としており、授業で少しは触れることがある内容です。

△:授業では触れないが、学生にはこれを意識して授業に臨んで欲しいという内容です。

○カリキュラム・マップ【学年別】－2016～2018年度入学生－

4年生																																									
アウトカム		1				2				3					4										5					6											
コンピテンシー		1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)								
医薬品化学2				◎										◎		◎		◎	◎								◎														
漢方医学概論		○								○						◎		◎	○								○					◎									
保健衛生学			○	○			○												○							○	◎		◎												
薬物治療学2																			◎																						
薬物治療学3																			◎			△																			
薬物治療学4		◎		◎															◎	◎		◎								◎											
医薬品安全性学																			◎	◎	◎																				
地域医療論																											◎	◎	◎	◎											
薬事関係法規・制度		△	△											◎						△	◎						◎	◎	○	◎											
薬物動態制御学													◎			◎			◎					◎	◎																
医療コミュニケーション3		◎	◎				◎	◎																																	
基礎薬学特論1												◎	◎	◎					◎	◎	◎																				
基礎薬学特論2												◎	◎	◎					◎	◎	◎																				
基礎薬学特論3																																									
衛生薬学特論																																									
薬学統合演習1		◎	◎	◎									◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎		◎										
薬学実習8			◎				○				◎		◎							◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								◎						
薬学実習9			◎				◎	◎	◎				◎							◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎															
薬学実習10													◎							◎	◎																				

5年生																																							
アウトカム		1				2				3					4										5					6									
コンピテンシー		1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)						
薬学実務実習			◎				◎	◎	◎				◎						◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎										
薬学最前線																																							
卒論実習																																							

6年生																																							
アウトカム		1				2				3					4										5					6									
コンピテンシー		1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	1)	2)	3)	4)	5)	1)	2)	3)	4)						
薬学総合演習2		◎	◎	◎		◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎										
薬学総合講義1													◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎										
薬学総合講義2										◎	◎	◎								◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎										
薬学総合講義3										◎									◎	◎		◎	◎	◎		◎													
薬学総合講義4															◎	◎	◎	◎	◎																				
卒論実習																																							

参考

コアカリキュラム対象外

医療コミュニケーション4																																					
語学演習1																																					
語学演習2																																					
薬学演習																																					
薬学最前線																																					

◎:授業で必ず触れる内容です。

○:授業に組込むことを教員が努力目標としており、授業で少しは触れることがある内容です。

△:授業では触れないが、学生にはこれを意識して授業に臨んで欲しいという内容です。

○カリキュラム・ツリー ー2016～2018年度入学生ー

		1. 倫理観とプロフェッショナリズム	2. チーム医療を遂げた患者中心の医療への歩み	3. 医薬品の調製、管理、供給	4. 薬物治療の実践	5. 健康維持と地域への貢献	6. 科学的探究心の醸成
6年	卒論	地域医療コース 高度専門医療コース 薬学研究コース	地域医療コース 高度専門医療コース	薬学研究コース	高度専門医療コース	地域医療コース	地域医療コース 高度専門医療コース 薬学研究コース
	講義 演習	薬学統合演習2	薬学統合演習2	薬学統合演習2 薬学総合講義1 薬学総合講義2 薬学総合講義3	薬学統合演習2 薬学総合講義1 薬学総合講義2 薬学総合講義3 薬学総合講義4	薬学統合演習2 薬学総合講義1	
5年	卒論	地域医療コース 高度専門医療コース 薬学研究コース	地域医療コース 高度専門医療コース	薬学研究コース	高度専門医療コース	地域医療コース	地域医療コース 高度専門医療コース 薬学研究コース
	講義 実習	薬学実務実習	薬学実務実習	薬学実務実習	薬学実務実習	薬学実務実習	
4年	後期	薬学統合演習1		薬学統合演習1 基礎薬学特論1 基礎薬学特論2	薬学統合演習1 基礎薬学特論1 基礎薬学特論2 基礎薬学特論3		
	前期	薬学実習8 医療コミュニケーション3 △薬事関係法規・制度	○薬学実習8 医療コミュニケーション3	薬学実習8 薬物動態制御学 薬事関係法規・制度	薬学実習8 薬物動態制御学 薬事関係法規・制度 医薬品安全性学	薬学実習8 地域医療論 薬事関係法規・制度	薬学実習8
		○保健衛生学 △漢方医学概論 医薬品化学2 薬物治療学4	○保健衛生学		○保健衛生学 漢方医学概論 医薬品化学2 薬物治療学4 薬物治療学3 薬物治療学2	保健衛生学 △漢方医学概論 医薬品化学2 薬物治療学4	医薬品化学2
				医薬品化学2			
3年	後期	薬学実習7 医療コミュニケーション2 △薬物動態学 医薬品情報学 △病態・薬理学6	医療コミュニケーション2 △薬物動態学 医薬品情報学	薬学実習7 薬物動態学	薬学実習7 医療コミュニケーション2 薬物動態学 医薬品情報学 薬学統計学 △毒性学 分子生物学 医薬品化学1 放射薬品学	医療コミュニケーション2 医薬品情報学 薬学統計学 毒性学	△薬物動態学 医薬品情報学 薬学統計学 分子生物学
	前期	△放射薬品学		○毒性学 分子生物学 医薬品化学1 放射薬品学	△毒性学 分子生物学 医薬品化学1 放射薬品学 薬物治療学1 病態・薬理学6 病態・薬理学5	△医薬品化学1 放射薬品学	
2年	後期	△薬学実習4 製剤学2 △病態・薬理学2 ○機器分析学	△病態・薬理学2	薬学実習4 製剤学2 病態・薬理学2 機器分析学 物理化学3 有機化学3	薬学実習4 製剤学2 病態・薬理学2 病態・薬理学1 生化学2 栄養化学 エコサイエンス 薬理学3	製剤学2 △病態・薬理学2 ○生化学2 栄養化学 エコサイエンス △薬理学3	
	前期	○薬学実習3 医療コミュニケーション1	○薬学実習3 医療コミュニケーション1	薬学実習3 製剤学1 物理薬剤学 生化学1 有機化学2 物理化学2 応用分析化学	薬学実習3 △物理薬剤学 生化学1 △物理化学2 △応用分析化学 生理学2 薬理学2 薬理学1	医療コミュニケーション1 △生化学1 △物理化学2	△有機化学2
		△有機化学2 △物理化学2 ○応用分析化学 △生理学2	△物理化学2				
1年	後期	薬学実習2 ヒューマンコミュニケーション 薬学への招待2 医療社会学	ヒューマンコミュニケーション 薬学への招待2 医療社会学	薬学実習2 有機化学1 医療社会学 薬学数学 物理化学1 薬品分析化学	薬学実習2 ○有機化学1 薬学への招待2 医療社会学 薬学数学 物理化学1 生命科学2 薬科生物学 生理学1	薬学への招待2 医療社会学	薬学実習2 医療社会学 △物理化学1 △生命科学2 △薬科生物学
	前期	△物理化学1 △生命科学2	△物理化学1 △生命科学2				
		薬学への招待1 生命倫理	薬学実習1 薬学への招待1 △基礎化学	薬学実習1 薬学への招待1 基礎化学 基礎物理化学	薬学実習1 薬学への招待1 基礎化学 基礎物理化学 医学概論 生命科学1 機能形態学	薬学への招待1 医学概論	薬学実習1 薬学への招待1 △生命科学1
		△生命科学1 △機能形態学	△生命科学1				

共通教育・入門教育
物理化学・分析化学
有機化学
生命薬学
衛生薬学
医療薬学Ⅰ分野
医療薬学Ⅱ分野
総合分野
演習科目
実習科目
薬学実務実習
サブ科目

○カリキュラム・ツリー -2019年度～入学生-

		1. 倫理観とプロフェッショナリズム	2. チーム医療を通じた患者中心の医療への参画	3. 医薬品の調製、管理、供給	4. 薬物治療の実践	5. 健康維持と地域への貢献	6. 科学的探究心の醸成
6年	卒論	地域医療コース 高度専門医療コース 薬学研究コース	地域医療コース 高度専門医療コース	薬学研究コース	高度専門医療コース	地域医療コース	地域医療コース 高度専門医療コース 薬学研究コース
	講義 演習	薬学統合演習2	薬学統合演習2	薬学統合演習2 薬学総合講義1 薬学総合講義2 薬学総合講義3	薬学統合演習2 薬学総合講義1 薬学総合講義2 薬学総合講義3 薬学総合講義4	薬学統合演習2 薬学総合講義1	
5年	卒論	地域医療コース 高度専門医療コース 薬学研究コース	地域医療コース 高度専門医療コース	薬学研究コース	高度専門医療コース	地域医療コース	地域医療コース 高度専門医療コース 薬学研究コース
	講義 実習	薬学実務実習	薬学実務実習	薬学実務実習	薬学実務実習	薬学実務実習	
4年	後期	薬学統合演習1		薬学統合演習1 基礎薬学特論1 基礎薬学特論2	薬学統合演習1 基礎薬学特論1 基礎薬学特論2 基礎薬学特論3		
	前期	薬学実習8 医療コミュニケーション3 △薬事関係法規・制度 ○保健衛生学 △漢方医学概論 医薬品化学2 薬物治療学4	○薬学実習8 医療コミュニケーション3 ○保健衛生学	薬学実習8 薬物動態制御学 薬事関係法規・制度 医薬品化学2	薬学実習8 薬物動態制御学 薬事関係法規・制度 医薬品安全性学 ○保健衛生学 漢方医学概論 医薬品化学2 薬物治療学4 薬物治療学3 薬物治療学2	薬学実習8 地域医療論 薬事関係法規・制度 保健衛生学 △漢方医学概論 医薬品化学2 薬物治療学4	薬学実習8 医薬品化学2
	後期	薬学実習7 医療コミュニケーション2 △薬物動態学 医薬品情報学 △病態・薬理学6 △放射薬品学	医療コミュニケーション2 △薬物動態学 医薬品情報学	薬学実習7 薬物動態学 ○毒性学 分子生物学 医薬品化学1 放射薬品学	薬学実習7 医療コミュニケーション2 薬物動態学 医薬品情報学 薬学統計学 △毒性学 分子生物学 医薬品化学1 放射薬品学 薬物治療学1 病態・薬理学6 病態・薬理学5	医療コミュニケーション2 医薬品情報学 衛生化学 毒性学 △医薬品化学1 放射薬品学	△薬物動態学 医薬品情報学 薬学統計学 分子生物学
	前期	○生薬学・天然物化学 ○臨床分析学 △病態・薬理学4 △病態・薬理学3	調剤学 △病態・薬理学4	薬学実習6 調剤学 有機化学4 生薬学・天然物化学 臨床分析学	薬学実習5 調剤学 有機化学4 生薬学・天然物化学 臨床分析学 環境衛生学 衛生化学 病態・薬理学4 病態・薬理学3 感染免疫学 生物薬剤学	○臨床分析学 環境衛生学 衛生化学 ○病態・薬理学4	病態・薬理学4
2年	後期	△薬学実習4 製剤学2 △病態・薬理学2 ○機器分析学 薬理学3	△病態・薬理学2	薬学実習4 製剤学2 病態・薬理学2 機器分析学 物理化学3 有機化学3	薬学実習4 製剤学2 病態・薬理学2 病態・薬理学1 生化学2 栄養化学 エコサイエンス 薬理学3	製剤学2 △病態・薬理学2 ○生化学2 栄養化学 エコサイエンス △薬理学3	
	前期	○薬学実習3 医療コミュニケーション1 △有機化学2 △物理化学2 ○応用分析化学 △生理学2	○薬学実習3 医療コミュニケーション1 △物理化学2	薬学実習3 製剤学1 物理薬剤学 生化学1 有機化学2 物理化学2 応用分析化学	薬学実習3 △物理薬剤学 生化学1 △物理化学2 △応用分析化学 生理学2 薬理学2 薬理学1	医療コミュニケーション1 △生化学1 △物理化学2	△有機化学2
1年	後期	薬学実習2 ヒューマンコミュニケーション 薬学への招待2 医療社会学 △物理化学1 △生命科学2 薬物治療学入門	ヒューマンコミュニケーション 薬学への招待2 医療社会学 △物理化学1 △生命科学2 △薬物治療学入門	薬学実習2 有機化学1 医療社会学 物理化学1 薬品分析化学 ○薬物治療学入門 薬学数学2	薬学実習2 有機化学1 薬学への招待2 医療社会学 物理化学1 生命科学2 薬科生物学 生理学1 薬物治療学入門 薬学数学2	薬学への招待2 医療社会学 △物理化学1 △生命科学1 医学概論	薬学実習2 医療社会学 △物理化学1 △生命科学2 △薬科生物学
	前期	薬学への招待1 生命倫理 △生命科学1 △機能形態学 基礎生物学	薬学実習1 薬学への招待1 △基礎化学 △生命科学1	薬学実習1 薬学への招待1 基礎化学 基礎物理化学 薬学数学1	薬学への招待1 基礎化学 基礎物理化学 生命科学1 機能形態学 基礎生物学	薬学への招待1	薬学実習1 薬学への招待1 △生命科学1 基礎生物学
	後期	共通教育・入門教育 物理化学・分析化学 有機化学 生命薬学 衛生薬学 医療薬学Ⅰ分野 医療薬学Ⅱ分野 総合分野 演習科目 実習科目 薬学実務実習 サブ科目					
	前期						

※カラー版はWebで確認できます。

<https://www.e-campus.gr.jp/syllabus/current/ph>